

## 2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330242043B	教職実践演習(小)	小倉 弘之			2	選択	4後期
<b>科目の概要</b>							
<p>本学で修得を目指す社会人基礎力、pisa型学力の修得はもちろんのこと、D P③の教育現場での課題に対する見識を深め、専門的知識と技能の修得、そしてD P①⑤の社会人として自己研鑽に取り組み、D P⑥の地域や国際社会で貢献できる人材育成を目指していく。</p> <p>本授業ではこれまで様々な科目や活動を通じて修得してきた教職に関する資質能力に関する「学びの集大成」として、新年度から自信をもって教師生活を始めることができるよう、様々な教育課題に対し、いかに判断・対応していくかの検討を行うとともに、自らの目標や課題を明確にして教職生活を円滑に開始できることを目指すものである。</p>							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
<p>① 教職に必要な知識や技能の修得を図る。</p> <p>② 教育現場で起こっている事例とその背景にある要因を踏まえ、よりよい対応を考える。</p>				<p>① 事例に関する協議を通し、教師として必要な知識や教授技能を修得することができる。</p> <p>② 教育現場で起こっている課題の解決に向けて、新任教員としてどのように対応すればよいかを修得した知識や技能を活用して考えることができる。</p>			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	よりよい指導を行うためにいかにすればよいかを考え、必要な教材や教具、資料等可以考虑することができる。					
	働きかけ力						
	実行力	図書館の図書や資料、インターネットからの情報を効果的に活用し、新たな知見や有効な教具、資料等を作成することができる。					
考え抜く力	課題発見力	これまで学習してきたことを踏まえ、学校現場における教育課題について問題意識を持つことができる。					
	計画力						
	創造力	学校で起こりうる課題を自らの課題として捉え直し、自分なりの対応策を考えたり、グループで話し合い新たな対応策を探ったりすることができる。					
チームで働く力	発信力	課題発見力を駆使することによって生み出した自分なりの問題意識を、ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現することができる。					
	傾聴力	グループ討議では、新たな対応策を感じるために、他者の話をよく聞き、メモを取るなどして話し合うことができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	学習を習慣づけ、計画的に実践することができる。					
	ストレスコントロール力						
<b>テキスト及び参考文献</b>							
<p>適宜、資料を配付する。</p> <p>参考図書：『新版 学校を改革する 学びの共同体の構想と実践』佐藤学, 2023, 岩波ブックレット</p> <p>参考図書：文部科学省「小学校学習指導要領」</p>							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
<p>他科目との関連：本授業は、4月から自信を持って子どもの指導に当たることができるようにするため、これまでの学びを振り返り、自分の弱みを克服していくところにある。従って、小学校教諭免許状取得に関わる全ての科目を基盤として位置づいている。</p> <p>資格との関連：小学校教諭1種免許状</p>							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
教職を目指す学生が、4月から教壇に立つためにどんな力をつけておくことが必要かを学ぶ授業である。真剣に、かつ積極的に授業に取り組むことが求められる。				教師として学校現場ではどうしたらよいか、という探究的態度で学ぶこと。4月から教壇に立つことを踏まえ、出欠席、提出期限及び授業中に取り組む姿勢には厳しく対応していく。学修内容の一部を公開研究会への参加に切り替えることもあり得る。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
			②			
	小テスト	0	①			
			②			
	レポート	60	①	✓		（獲得）今日の様々な教育課題に対するの適切な理解、様々な視点の理解：40% （活用）教育課題に対して協議を通しての自らの認識・指導の具体策の明示：60%
			②	✓		
平常評価 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①	✓	（解決）様々な教育課題に対するのポートフォリオ作成と教育者としての理念の発表：100%		
		②	✓			
学修行動 社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	主体性：予習や復習を行い、自ら主体性をもって学び続けることができる。 実行力：学校現場での想定事例について自らのこととして真剣に考えることができる。 課題発見力：想定事例をはじめ、今日の教育現場での課題を見つけることができる。 創造力：子どもの立場に立って分かりやすい授業を考え、授業計画を考えることができる。 発信力：教育課題についてスライドにまとめ、分かりやすく発表することができる。 傾聴力：話を聞いたり、メモを取ったりするなどして学ぶ姿勢ができています。 規律性：グループワークや課題提出日など、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。		
		②	✓			
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
① 教育に対する意識が高く、教員としての自覚を持った意見を発表できる。 ② グループで協力し、それぞれの力を発揮し、学び合う姿勢ができています。 ③ 課題意識を持ち、自分なりの言葉でまとめ、考察したレポートを作成することができる。 ④ 社会人としてのルールやマナーを踏まえ、意欲的に授業に取り組むことができる。 ※ S(秀)については上記の点に加えて、教育課題事例に対し自分の考えをしっかりと理論的に述べるができる。	① 教育者としての自覚を持った意見を発表できる。 ② グループ協議では、自分の意見をしっかりと発表しグループの考えをまとめることができる。 ③ 課題意識を持ち自分なりの言葉でまとめ、レポートを作成することができる。 ④ 社会人としてのルールやマナーを踏まえ、授業に臨んでいる。 ※ レベルBを満たしていない発表やレポート、指導案や模擬授業はレベルCと判断する。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	○本授業の概要や進め方、教職に必要な資質等について理解する。 ○これまで様々な科目や実習で学んだことや自らの課題等をまとめ、ディスカッションする。	1. 講義：教員に必要な知識、技能と資質 2. ディスカッションと発表：実習で学んだことや課題をまとめ発表（教職ポートフォリオを作成）	・本授業の概要や進め方及び教職に必要な資質などについて理解する。 ・教育実習や様々な科目での学びを振り返り、成果や課題をまとめることができる。	（予習）配付された資料を読み、ワークシートにまとめる。 （復習）教職に必要な知識や技能、資質についてまとめるとともに自らの現状をふり返り、教職ポートフォリオを作成する。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力
2	○小学校における学級担任の業務と責任について事例を通して学修し、レポートにまとめる。	1. ディスカッションと発表：小学校学級担任の業務と責任について。 2. 小レポート：ディスカッション内容をまとめ提出。 3. 講義：小学校担任の業務と責任	・小学校学級担任の業務と責任をレポートにまとめ、その内容を理解する。	（予習）学級担任の役割や業務内容を調べる。映像資料「小学校教師の仕事体験しよう①（NITS）」 <a href="https://www.nits.go.jp/materials/basic/001.html">https://www.nits.go.jp/materials/basic/001.html</a> （復習）小学校中学校の学級担任の役割の違いから、学級担任制と教科担任制の違いについてまとめ提出。（Google Classroom）	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
3	○学級経営や学級経営案について学習する。	1. 演習：新年度、大切な子どもとの出会いの1週間に何をすべきかを考える。 2. 演習：学級経営案を作成する。 3. 講義：新年度、教師にとって大切な1日目、3日目、1週間、そして1か月	・子どもとの出会いの1日目、3日目に話すことをまとめる。 ・学級経営案を子どもの姿を想定しながら作成できる。	（予習）提示された資料を精読する。映像資料「学級開き（NITS）」 <a href="https://www.nits.go.jp/materials/basic/006.html">https://www.nits.go.jp/materials/basic/006.html</a> （復習）学級経営案を作成する。（提出：Google Classroom）	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	○学級づくりと児童一人ひとりとの関係づくりについて学修し、レポートにまとめる。	1. 演習：居場所があり安心していられる学級と教師の役割について考える。 2. 前時課題のフィードバック 3. 講義：安心・安全な居場所づくりと子どもとの人間関係づくり	・居場所があり安心していられる学級と教師の役割についてレポートにまとめ、その内容を理解する。	（予習）提示された資料を精読する。 （復習）レポートを作成する。（提出：Google Classroom）	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	○学校での事故の事例について学修し、その原因や防止について検討する。	1. 演習：事例から事故発生の要因と事故を起こさないための対応策を検討する。 2. 講義：学校事故と教師の責任 3. 前時課題のフィードバック	・学校事故の原因と防止策を考え、グループ・全体での協議において自分の考えを発表できる。	（予習）「学校管理下」「ハインリッヒの法則」等の用語について調べる。 （復習）学校における事故防止の観点をまとめる。（提出：Google Classroom）	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	○実際の授業から学ぶ：授業（VTR）視聴、授業分析①	1. 演習：小学校の授業（VTR）を視聴し授業分析を行う。	・小学校の授業（VTR）及び授業記録から学んだことを説明できる。	（予習）提示された資料を精読する。 （復習）本時の学修をふり返り、レポートを作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	○実際の授業から学ぶ：授業（VTR）視聴、授業分析②	1. 演習：小学校の授業（VTR）を視聴し授業分析を行う。	・小学校の授業（VTR）及び授業記録から学んだことを説明できる。	（予習）提示された資料を精読する。 （復習）本時の学修をふり返り、レポートを作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	○実際の授業から学ぶ：授業（VTR）視聴、授業分析③	・小学校の授業（VTR）及び授業記録から学んだことを説明できる。	・小学校の授業（VTR）及び授業記録から学んだことを説明できる。	（予習）提示された資料を精読する。 （復習）本時の学修をふり返り、レポートを作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレソコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	○児童の学びの深まりを実現する教師の話し方・聴き方について学修する。	1. 演習：学びの深まりを実現する教師の話し方・聴き方について個人検討、グループ討議、発表 2. 講義：学びの深まりを実現する教師の話し方・聴き方とは 3. 前時課題のフィードバック	・学びの深まりを実現する教師の話し方・聴き方についての理解を踏まえ、そのポイントについて自らのことばで説明することができる。	(予習) 提示された資料を精読する。 (復習) 学びの深まりを実現する教師の話し方・聴き方への自らの認識をまとめレポートを作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10	○児童の学びの深まりを実現する対話的学びについて学修する。	1. 演習：児童の学びの深まりを実現する対話的学びについて個人検討、グループ検討、発表 2. 講義：児童の学びの深まりを実現する対話的学びとは 3. 前時課題のフィードバック	・学びの深まりを実現する対話的学びについての理解し、そのポイントを自らのことばで説明することができる。	(予習) 提示された資料を精読する。 (復習) 学びの深まりを実現する対話的学びへの自らの認識をまとめレポートを作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	○学校での事故やいじめの事例について学修し、その原因や防止について検討する。	1. 演習：いじめや事故の事例について個人検討、グループ討議、発表 2. 講義：いじめや事故などの問題にいかに対応するか 3. 前時課題のフィードバック	・いじめや事故が発生する背景や要因を考え、これらの早期発見・対応や防止策について検討し発表する。	(予習) 提示された資料を精読する。 (復習) いじめや事故の防止に向け教員としていかに取り組むかを考察しレポートにまとめる。(提出：Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	○保護者や地域住民とのよりよいかかわり方について考察する。	1. 演習：保護者や地域住民との関わり方について個人検討、グループ討議、発表 2. 講義：保護者や地域住民といかに良好な関係をつくるか 3. 前時課題のフィードバック	配布資料や協議などから、本テーマについて考察をまとめることができる。	(予習) 提示された資料を精読する。 (復習) 適切な保護者対応や地域住民との関わり方について考察しレポートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	○その他の現在の学校教育の抱える諸問題(特別支援教育、外国籍児童対応、等)について学修する。	1. 演習：様々な教育課題について個人検討、グループ討議、発表 2. 講義：日本の抱える様々な教育課題について 3. 前時課題のフィードバック	様々な教育課題の中から1つテーマを設定し、そのテーマについての対応についてまとめる考察することができる。	(予習) 提示された資料を精読する。 (復習) 様々な教育課題への自らの認識をまとめレポートを作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	○将来、理想とする教師像とそれに近づくための方策をまとめ発表する①。	1. 演習：これまでのポートフォリオを活用し、自らの理想とする教師像と努力すべきことをまとめ発表、各発表への質疑応答	・自らの理想とする教師像と努力すべきことについて発表できる。	(予習) ポートフォリオを活用し、パワーポイントのスライドを作成する。 (復習) 発表に対する質疑応答を踏まえ、内容を改善する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	○将来、理想とする教師像とそれに近づくための方策をまとめ発表する②。	1. 演習：これまでのポートフォリオを活用し、自らの理想とする教師像と努力すべきことをまとめ発表、各発表への質疑応答	・自らの理想とする教師像と努力すべきことについて発表できる。	(予習) これまでの自らのポートフォリオを振り返る。 (復習) 自らのポートフォリオまとめ完成させる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力